



# かけはし

244号

2026年2月

ご自由にお持ちください

特集

済生会がんセンター設立10周年記念  
 がん医療の進化とこれから

リハビリ通信

健康に生きる『食べ方』のすゝめ

もはや、  
 豆では及ばぬ  
 鬼退治ー  
 除去よりも  
 大難  
 生み出さぬ  
 鬼予防ー



# 済生会がんセンター設立10周年記念 がん医療の進化とこれから

済生会滋賀県病院のがんセンターは、2015年の設立から大きな節目となる10周年を迎えました。この10年間で、がん医療は「見つける技術」から「治す技術」まで劇的な進歩を遂げています。当時は難しかった治療が、今では確かな選択肢となり、皆さまの健康を支えています。本特集では、設立から10年の歩みの中で進化してきた当院のがん医療と、私たちが目指すこれからの姿をご紹介します。

## 1. 次世代内視鏡システムによる早期発見

がん治療の第一歩は、病変を正しく見つけ出し、その性質を正確に把握することから始まります。当院の内視鏡診断は、この10年で劇的な進化を遂げました。次世代内視鏡システム「EVIS X1」の導入により、これまで見逃しやすかった微細な病変も、高精細な画像処理・強調技術によって、くっきりと映し出せるようになってきました。今後はAIによる診断補助も加わり、医師の経験に最新技術が融合することで、胃がんや大腸がんの早期発見・早期治療の精度がさらに向上することが予想されています。

## 2. 切らずに治す放射線治療

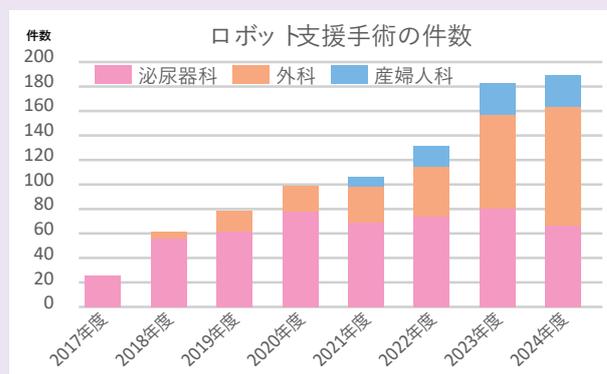
放射線治療の件数はこの10年で2倍以上に増加しました。最新装置「TrueBeam」の稼働により、がんの形状に合わせて放射線の強さを調整する「IMRT（強度変調放射線治療）」や、呼吸や体動などによる位置のずれをミリ単位で補正する「IGRT（画像誘導放射線治療）」が可能となりました。これにより、正常な組織への影響を最小限に抑えつつ、がんを狙いを定めて集中的に照射できるようになり、副作用の少ない、患者さんの体に優しい治療を実現しています。



## 3. 手術支援ロボットを活用した外科治療

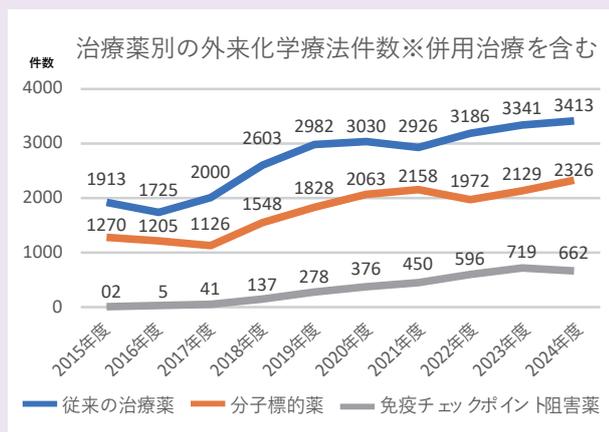
外科治療においては、手術支援ロボット「da Vinci」の導入が大きな転換期となりました。前立腺がんから始まったロボット手術は、胃、大腸、肺、腎臓などへ適応を拡大し、現在では、前立腺全摘除術の累計は450例を超え、胃がん手術においては全体の約9割をロボット手術が担うまでになっています。

ロボット手術の最大のメリットは、人間の手以上の可動域を持つ小さな「手」と、高精細な3D画像による精密な操作です。お腹の中の狭く深い場所でも、神経や血管を傷つけることなく繊細な処置ができるため、出血量が抑えられ、術後の痛みも軽減されます。その結果、入院期間の短縮や早期の社会復帰が可能となりました。



#### 4. あなたにぴったりの薬が見つかる時代

かつてのがん薬物療法は、がんの種類ごとに決まった薬剤を使用するのが一般的でした。しかし現在では、がんの「遺伝子」を解析することで、一人ひとりの病状に最適な薬剤を選ぶ「個別化医療」が主流となっています。がん細胞の増殖に関わる特定の分子を狙い撃ちする「分子標的薬」や、自身の免疫力を呼び覚ましてがんと戦う「免疫チェックポイント阻害薬」など、新たな選択肢が次々と登場しています。これにより、以前は治療が難しかった進行がんにおいても、長期にわたって病状をコントロールできるケースが増えています。実際に当院における外来薬物療法の実施件数は、この10年間右肩上がりでも推移しており、多様化する新薬に対応するため、多職種が連携して安全な投与と副作用管理を徹底しています。当院では、患者さん一人ひとりの「がんの個性」を見極め、最も効果が高く副作用の少ない治療戦略を提案しています。



#### 5. 多職種連携による支援体制

当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど、専門領域を超えた「チーム」で患者さんを支えています。

##### ・栄養サポート(NST)

医師・管理栄養士らが毎週回診を行い、治療継続の基盤となる体力維持を栄養面から管理します。

##### ・がんリハビリ

専門スタッフを2名から23名へ大幅増員し、入院直後から緩和期まで、日常生活動作の低下を防ぐ訓練を年間1万件以上実施しています。

##### ・緩和ケア・ペインクリニック

診断直後からの痛み・不安の緩和を重視し、専門外来での神経ブロック併用により、鎮痛薬の副作用を抑えた生活の質の維持を支援します。

##### ・相談支援

がん相談支援センターにて、就労、経済的負担、家族ケアなど、治療以外の多様な悩みに専門職が対応します。



多職種カンファレンス

#### 6. さらなる進化に向けて

2027年に完成予定の新外来棟では、外来化学療法センターが現在の16床から25床へと大きく拡充されます。より快適でプライバシーに配慮した環境で、最新の薬物治療を受けていただけるようになります。

また、健診センターには「女性に優しい」をコンセプトとしたレディースフロアを新設し、乳がんや子宮がん検診をより安心して受診いただける体制を整備いたします。「つなぐ医療」を合言葉に、予防から早期発見、そして最新の個別化治療までを扱います。

今後も当院では、地域に根ざした「進化し続けるがん医療」を提供し続けてまいります。



新外来棟の完成予想図

# リハビリ通信

## 健康に生きる『食べ方』のすゝめ

リハビリテーション技術科 言語聴覚士 籾生 麻衣子

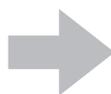
### 毎日を元気に過ごすために

令和2年の厚生労働省における都道府県別の平均寿命の発表において、滋賀県が男性平均寿命日本一、女性も第2位となったことをご存じですか？そして健康寿命も全国上位です。つまり滋賀県は、全国的にも元気に長生きする方が多いということですね。たしかに日頃から「なるべく身体を動かしている」「食べ物に気を付けている」「早寝早起きを心掛けている」など、日常生活の中で努力しているとの声をよく聞きます。運動・食生活を気にすることはとても大切です。

そこで今回は、いつまでも元気に『食べ続ける』ため、『飲み込む』機能について考えてみましょう。

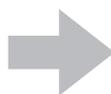
### あなたは正常に食べられていますか？

- むせることなくしっかり噛んで飲み込める
- 必要量が食べられる



正常に食べられています

- 噛めない、丸飲みする
- うまく飲み込めない
- 少量しか食べられない
- 以前よりも食べ終わるまでに時間がかかる
- 食後に咳がよく出る
- 体重が減ってきた(病気など他の原因がある場合を除く)



該当する場合は問題あり!

### 正常でない場合の原因と対処法

| 問題点                        | 原因                            | 対処法  |
|----------------------------|-------------------------------|--|
| ・ 噛めない、丸飲みする               | ・ 噛む歯がない/少ない<br>・ 入れ歯が合わない    | ・ 歯科受診<br>・ 軟らかい物を食べる<br>・ 食べ物を細かく刻む                   |
| ・ 以前よりも食べ終わるまでに時間がかかる      | ・ 口の運動不足                      | ・ 舌の運動<br>・ 会話を増やす<br>・ カラオケ                           |
| ・ うまく飲み込めない<br>・ 食後に咳がよく出る | ・ 嚥下(飲み込み)機能の低下 <sup>※1</sup> | ・ 軟らかい物を食べる<br>・ 噛みづらければ刻む<br>・ 液体は少しずつ飲む<br>・ トロミをつける |
| ・ 少量しか食べられない<br>・ 体重が減ってきた | ・ 栄養の問題                       | ・ 軟らかい物を食べる<br>・ 栄養補助食品を食事に追加する <sup>※2</sup>          |

※1) 嚥下障害については原因が様々なので、かかりつけ医師や耳鼻科などにご相談ください。

※2) 栄養補助食品はドラッグストアやスーパーなどにもあります。カロリーなどを意識して取り入れてみてください。

適切に栄養を摂るためには安全に食べられる力が必要です。加齢や病気・ケガなどを機に食べにくくなることもあります。健康に長生きできるように、ぜひ自分や家族の『食べ方』とも向き合ってみてください。

## 葉山東小学校「がん教育」特別授業を実施

2026年1月16日(金)、葉山東小学校で6年生の生徒を対象に当院の河原絵里医師と診療放射線技師の髙部亜砂子技師が「がん教育」特別授業を行いました。

授業の題名は「今とこれからを生きるきみたちへ～知ってもらいたい”がん”のこと～」として、近年罹患率の増加している「がん」について、正しい理解をしてもらう事を目的に、がんの現状や種類・予防・治療などの内容に加え、がん患者との共生としてがんを身近なものとして考えてもらえる内容のクイズなども出題しました。

授業では、クイズの問題に積極的に参加し、中には熱心に授業内容のメモを取る生徒もいました。子どもたちの真剣な表情にがん教育の重要性を実感すると共に、「自分の命のこと」「大切な家族の命のこと」と捉えてもらうことで、がん教育を受けた生徒が成人した際にがんへの取り組みや生活様式に変化をもたらしてくれることを願っています。



## 第22回 済生会がんセンター市民公開講座を開催

2026年1月24日(土)、第22回となる済生会がんセンター市民公開講座を開催いたしました。今回は当院のがんセンター開設10周年を記念し、「がん医療の進歩と10年の軌跡」というテーマのもと、48名の皆さまにご参加いただきました。

節目となった今回の講座では、過去最多となる7つの演題をご用意しました。医師だけでなく、薬剤師や看護師など多職種スタッフが登壇し、がんの早期発見から最新の治療法、療養中の支援体制まで、当院がんセンターの取り組みをご紹介しました。

講座では、実際の手術の映像や、放射線治療の受診風景など動画を活用してわかりやすく解説しました。さらに10年間の治療実績の推移をグラフで示し、ロボット手術の導入、新薬の増加、支援体制の充実など、この10年間のがん医療の進化を具体的にお伝えしました。当院の取り組みと医療の進歩を実感していただける貴重な機会となりました。

今後も当院では、地域の皆さまの心に寄り添いながら、安心のがん医療を届けてまいります。



## クラウドファンディングで災害支援車両が納車されました

2026年1月9日(金)、皆さまからのあたたかいご支援により、災害支援車両が納車されました。

当院では、2024年6月から9月にかけてドクターカーの更新を目的としたクラウドファンディングを実施しておりました。結果は627名の方々から総額4,922万6,000円ものご寄付をいただきました。

当初は老朽化したドクターカーの更新を目的としており、2024年10月に新しい車両を導入いたしました。が、皆さまからの多大なるご支援により、このたびドクターカーの更新のみならず、新たに災害支援車両の導入も実現することが出来ました。

これまで地震等の被災地域には、地域のドクターカーとして普段活動している車両で赴いていました。これからは地域のドクターカーと災害支援車両の2台体制となることで、地域の救急医療と被災地支援が同時に行うことが出来るようになりました。一刻を争う救命の現場で、皆さまのご支援が多くの命を救う力となります。いただいたご厚意を胸に、これからも救急医療の最前線で全力を尽くしてまいります。本当にありがとうございました。



## 病院公式Instagram フォロワー 1,000 人を突破しました

日頃より当院の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、当院の公式Instagramのフォロワー数が1,000人を突破いたしました。2023年の開設以降、地域の皆さまをはじめ、多くの方々とのつながりが少しずつ広がり、1,000という数字になったことを大変嬉しく感じております。

Instagramでは、スタッフの仕事紹介や院内のイベント情報など、「病院をより身近に感じていただきたい」という想いで発信を続けてきました。皆さまからいただく反応は、現場で働く職員にとって大きな励みになっています。

これからも、皆さまの安心や健康に役立つ情報を、親しみやすくお届けしてまいります。フォローがまだの方は、ぜひこの機会にチェックしてみてください。



スマホのカメラをかざして  
アカウントにアクセス!



## 毎年2月4日～10日は『滋賀県がんと向き合う週間』 2月は『済生会滋賀県病院がん予防征圧月間』です！

滋賀県では、毎年2月4日から10日までの1週間を「滋賀県がんと向き合う週間」と定め、「県が県民および事業者の間に広くがんに関する理解と関心を深めるとともに、がんの予防、早期発見などに関する自主的な取組への意欲を高める」こととしています。

この取り組みに合わせ、当院では毎年2月を「済生会滋賀県病院がん予防・征圧月間」と定め、様々な啓発活動に取り組んでいます。

### 実施予定

- ・がんに関するパンフレット設置やポスター展示を開催（1階エントランスホール）
- ・ホームページや院内に「滋賀県がんと向き合う週間」周知のためのポスターを掲示



## 市民公開講座「心臓のSOSに気づこう」開催のお知らせ ～心不全のしくみ・薬の知識・毎日の気づき・体を動かす力～

2026年3月28日(土)、心不全をテーマとした市民公開講座を開催します。心不全の基礎知識から、お薬のこと、自宅でできるセルフモニタリングやフレイル予防のための運動など、日常生活に役立つ情報を専門職が丁寧にお話しします。

〈日時〉2026年3月28日(土) 10:00～11:30  
(開場：9:30～)

〈会場〉済生会滋賀県病院 5階 なでしこホール

〈担当〉心不全療養指導チーム

〈電話〉077-552-1221(代表)

参加無料・申込不要で、どなたでもご参加いただけます。ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

済生会滋賀県病院市民公開講座

### 心臓のSOSに気づこう

～心不全のしくみ・薬の知識・毎日の気づき・体を動かす力～

日時

2026.03.28 (土) 10:00～11:30 (開場：9:30～)

会場

済生会滋賀県病院 5階  
〒520-3046 滋賀県東栗原市大橋二丁目4番1号

参加費無料

申込不要

プログラム (75分) 5分休憩×3回あります

|                                     |                              |                    |
|-------------------------------------|------------------------------|--------------------|
| <b>座長</b>                           | 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)           |                    |
| <b>1. 開演挨拶</b>                      | 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)           | 楽しく学べる<br>体験型講座です！ |
| <b>2. 心不全概論</b>                     | 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)           |                    |
| <b>3. お薬と上手に付き合うためのお話</b>           | 市本 香名 (薬剤師 薬剤師)              |                    |
| <b>4. 心不全セルフモニタリングで毎日を安心</b>        | 坂口 華乃美 (診療看護師 看護師)           |                    |
| <b>5. フレイル予防とリハビリ～フレイルってなんだろう？～</b> | 内村 賢博 (リハビリテーション技術科 主任理学療法士) |                    |
| <b>6. 閉演挨拶</b>                      | 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)           |                    |

請求書発行 済生会滋賀県病院 医療課 〒520-3046 滋賀県東栗原市大橋二丁目4番1号  
 TEL: 077-552-1221 (受付時間：平日8:30～17:00)

## 当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら

# まちの診療所紹介

## かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



滋賀県草津市南草津二丁目3-11  
南草津駅から徒歩4分  
駐車場11台完備  
TEL. 077-558-6778



▲HPはこちら

### 【診療科目】

内科・消化器内科・内視鏡内科・肝臓内科

### 【診療時間】

午前受付／9:00～12:00  
内視鏡検査(予約診療)／12:00～17:00

### 【休診日】

祝日、お盆、年末年始

| 診療時間       | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～17:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ▲ | ▲ |

▲9:00～15:00まで(日曜は予約検査のみ)

草津市

## 南草津おなかと胃・大腸カメラのクリニック

院長 大井 雅之 先生

～2025年12月1日 開院～

このたび「南草津おなかと胃大腸カメラのクリニック」を開院いたしました。院長の大井です。専門性の高い医療を、休日でも提供できるクリニックを地元で作りたくと考え、開院を決意しました。

当院では、腹痛や胸やけ、下痢・便秘、食欲不振などのおなかの症状を幅広く診察し、がんの早期発見・予防を目的とした胃カメラ検査・大腸カメラ検査に力を入れています。土曜日も診療をおこなっており、内視鏡検査は日曜日でも対応しております。

スタッフ一同、力を合わせ、皆様の健康を守るお手伝いをしたいと思っています。ちょっとした違和感でも大丈夫です。どうぞ気軽にご相談ください。



草津市

## ひの医院

院長 日野 拓耶 先生

～2026年1月6日須津整形外科から診療継承～

先代の須津整形外科で行っていた整形外科診療も継続しながら、風邪や生活習慣病などの一般内科も行っています。

整形外科と内科を同時に診療しますので、あらゆる身体の困りごとの相談にのれると思います。病気の初療の窓口となり、適切に診断治療を行っていくと同時に、専門的診療が望ましいと判断した場合には近隣の総合病院と早急に連携して対応していきます。

みなさまが楽しく健康な生活が営めるように尽力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。



滋賀県草津市野村8-9-1  
JR草津駅より徒歩15分、タクシー5分  
駐車場あり  
TEL. 077-567-1671



▲HPはこちら

### 【診療科目】

内科・整形外科・リウマチ科  
リハビリテーション科

### 【診療時間】

休診：木曜日 土曜午後 日曜・祝祭日

※須津医師も診療を継続いたします。須津整形外科に通院されていた方も安心してご来院ください。

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ○ | / |
| 17:00～19:30 | ○ | ○ | ○ | / | ○ | / | / |

### 病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.244 2026年2月

発行元 社会福祉法人 済生会滋賀県病院

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号

TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>